

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ALOHA KIDS SCHOOL南流山			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 15日		～	2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		～	2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムを行っている。	リーダー職員を曜日固定でなくローテーションで組むことでそれぞれの得意分野を発揮していくようにしている。	活動プログラムが固定化されないよう事業所内での情報共有を強化し、適切な対応が行えるようにしていく。
2	保護者様も子ども達も安心して楽しく通所していただいているところ。	言葉かけや働きかけを丁寧に行っている。	子ども達が自信をつけていけるようなプログラムが提供できるよう工夫していく。
3	充実した外出活動。	外出活動の際は細やかな所まで事前に調べて安全に実施できるようにしている。	行ける場所を増やしていけるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員同士の意思疎通や情報共有	相手にうまく伝わってないことがある。	職員一人一人が意見を言えるよう普段からコミュニケーションをとれる環境を整える。
2	保護者同士の交流・家族支援	保護者同士が顔を合わせる機会がない。	保護者同士の関わりや相談の場を提供していく。
3	非常時の対応として、避難訓練、安全確保のための計画等の保護者への周知が不十分である。	契約時に周知した以降は、周知する機会がないため結果的に不十分となってしまっている。	非常時の対応や避難訓練実施をお知らせ配布し申し送りでも伝えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ALOHA KIDS SCHOOL 南流山

公表日

2025年 3月 31日

利用児童数

2025年 3月 1 日

回収数 6人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			・小学生がいる中でも、楽しく活動が出来ています。 ・スペースは十分確保されていると感じます。 ・特になし	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1		1	・適切だと思います。 ・辞めた先生もいらしゃるようなので、常勤の先生が今 何人いるか解らないです。 ・特になし	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			1	・集団療育と個別療育の場が解りやすく仕切られていると感じます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5			1	・心地よく過ごせていると思います。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5			1	・多様な資格をもった先生がいらしゃるので、色んな角度から子どもを見てくださっているのだろうと感じます。 ・言語聴覚士の資格の方がいると嬉しいです。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1	・特にありません。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1			・特にありません。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1			・特にありません。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1			・特にありません。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			1	・色んなイベントも考えられていて、日常活動も本人も楽しくこなしているように思えます。 ・特になし	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6				・特になし ・幼稚園教諭との情報交換など行われているのか不安もあります。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				・契約時に説明がありました。 ・特になし	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				・特にありません。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		4		・困った時に相談にのってくださいます。 ・機会が出来ても、参加することが難しいかも連絡帳のやり取りで伝え合っています。。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	1			・毎日細かく伝えてくれて、嬉しく思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	2	2		・特にありません。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1	・先生たちに恵まれています。 ・特にありません。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	4		・幼稚園みたいに参観日があってもいいかも知れませんが。他の保護者との交流になるかも知れません。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				・配慮されていると感じます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5		1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1	・SNSなども顔を隠した状態で掲載されています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				・子どもがとても楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1			・子どもが楽しく通所しているので。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ALOHA KIDS SCHOOL 南流山		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3		長期休暇中の放課後等デイサービスと重なる時間帯は、狭さを感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		一時的送迎時または、職員が急な休みが発生した時など人員が少ないと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子どもには、口頭・絵カードで解りやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	3		子どもの食べかす・製作活動の後片付けがその場で排除はするが、全体的に落ちている事も。定期的に掃除・生活空間に使わない道具をしまう場所の確保も必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どものいる時間は個室の確保をしている。 (静養室・相談室)	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	昨年より改善していると思う。	全員が周知しているかがあると思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	週1回または2回、話し合いの場を設けている。	もう少し課題を煮詰めて、行うの必要かも。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	研修の機会で時間が確保されていれば、参加は出来た。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	2		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2		共有出来ていない部分もあると思う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		共有出来ていない部分もあると思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		内容が一定していると思う。工夫の仕方が少ない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		どちらともいえないところも。（一部だけという部分もあると思う。）
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・解らない ・改善、検証はおこなっているが、改善まで繋がっているか？
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		機関会議は参加できる場合は参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		解らない
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	2	必要だと思う場合は、連絡している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		今のところ活動の場がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡ツールを活用している。ツールでお伝え出来ない部分は、連絡・対応する。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		現状出来ていない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学の際は、利用者負担を説明し、契約時に再度説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、面談で対応か連絡ツールで対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		ご家族様が周知しているか、解らない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		もう少し、頻度があっても良いかもしれません。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		ご家族様より情報を頂いております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		ご家族様より情報を頂いております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		もう少し、頻度があっても良いかもしれません。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		解らない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハットの記載はあるが、再防止していく、気持ちが良かった方が良いと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	2		職員の入替りもあったので、もう少し機会を授けた方が良いかと思います。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約時に説明している。	